

# 復興のこれまでとこれから ウェルビーイングと未来社会のデザイン

入場無料  
要事前申込  
3月13日〆切

2026年3月21日（土）14:30～17:30

東北大学川内キャンパス・オンライン併用ハイブリッド開催

- |       |        |             |                              |
|-------|--------|-------------|------------------------------|
| 14:30 | 基調講演   | 増田 聰氏       | 帝京大学経済学部教授/東北大学大学院経済学研究科名誉教授 |
| 15:40 | シンポジウム | モデレーター：西出優子 | 東北大学大学院経済学研究科教授              |



増田 聰氏

帝京大学経済学部教授  
東北大学大学院経済学研究科  
名誉教授



李妍焱氏

駒澤大学文学部教授



久保田彩乃氏

一般社団法人ヴォイス・オブ・  
フクシマ 代表理事  
福島大学教育推進機構特任助教



齊藤祐輔氏

認定特定非営利活動法人底上げ  
副理事長  
宮城大学事業構想学群助教

日本社会関係学会第6回大会  
参加方法の詳細はこちら



シンポジウム  
参加登録はこちら



# 基調講演

増田 聰氏 演題「復興のこれまでとこれから 一ウェルビーイングと未来社会のデザイン」

帝京大学経済学部地域経済学科教授 / 東北大学クロスアポイントメント教授

群馬県生まれ、東京大学大学院修了・工学博士。三菱総研研究員、東北大学教養部講師・情報科学研究科助教授・経済学研究科教授を経て2024年度から現職(専門:地域計画)。(特活)とうほくPPP・PFI協会、(一財)東北圏地域づくりコンソーシアム等でも復興支援活動にあたる。分担共著に“Resident Evaluation of Reconstruction Challenges and Lessons Learned from the Great East Japan Earthquake: Recommendations for Reconstruction and Industrial Policies 12 Years after the Disaster”(Economies 12(7), 2024)、『東日本大震災復興研究VII 東日本大震災と原発事故は何を残したか:大震災・原発事故からの復興・復旧の先にある持続的発展のロードマップ』(晃洋書房, 2024)、『東日本大震災100の教訓 復興検証編』(クリエイツかもがわ, 2023)など。

## パネリスト

李 妍焱氏

「市民社会の未来デザインー市民的コモンズをキーワードに」

駒澤大学文学部教授

中国の大学を卒業後1994年に来日し、2000年に東北大学大学院文学研究科で博士号取得。2002年から駒澤大学文学部社会学科で教鞭を執る。テーマは「市民によるボトムアップな社会づくり」。2010年から「日中市民社会ネットワーク」を設立し、環境教育やオルタナティブな暮らし方などを中心に日中間で草の根の交流と連携に尽力。近年は世田谷の地域プロジェクトと連携しながら教育・研究活動を進めており、新著『市民的コモンズとは何かー理論と実践者との対話』(ミネルヴァ書房、2025年)において、地域の市民たちによるコモンズの仕組みを手がかりに、ボトムアップの社会づくりの未来デザインを描き出している。

久保田 彩乃氏

「原発事故の『記憶と責任の継承』ー当事者世代と次世代による対話型ワークショップ実践事例から」

一般社団法人ヴォイス・オブ・フクシマ 代表理事 / 福島大学教育推進機構特任助教

福島県郡山市出身。2009年、秋田放送でラジオ番組の中継リポーターを務める。2011年7月、地元郡山市に戻り、コミュニティFMの運営や番組制作、富岡町臨時災害FM「おだがいさまFM」の運営などに携わる。同年12月より、福島県民の多様な声の発信とアーカイブを目的に一般社団法人ヴォイス・オブ・フクシマを設立。被災経験者への取材活動のほか、小中高校生を対象としたメディア制作・インタビュー取材を通じた地域探求学習支援にも参画。2019年から東北大学大学院情報科学研究科に在籍。2023年度から福島大学教育推進機構に着任し、学生らと被災地域のフィールドワークやアーカイブ活動に注力する。

齊藤 祐輔氏

「災害復興過程に関わる『よそ者・若者』のウェルビーイングー東日本大震災後の若者の語りに着目して」

認定特定非営利活動法人底上げ副理事長 / 宮城大学事業構想学群助教

東日本大震災を契機に宮城県気仙沼市へ移住し、復興支援活動を行う。その後、特定非営利活動法人底上げを設立し、地元の中高生に向けた地域教育や若者のキャリア伴走支援、まちづくりの事業に携わる。現場で活動する一方、2022年に東北大学情報科学研究科に進学、2023年には宮城大学事業構想学群助教に着任し、若者のウェルビーイングやNPOを専門領域とした教育・研究活動にも従事する。現在は、人と社会のウェルビーイングに寄与することを目指し、実践と研究の往還に取り組む。

## 会場案内

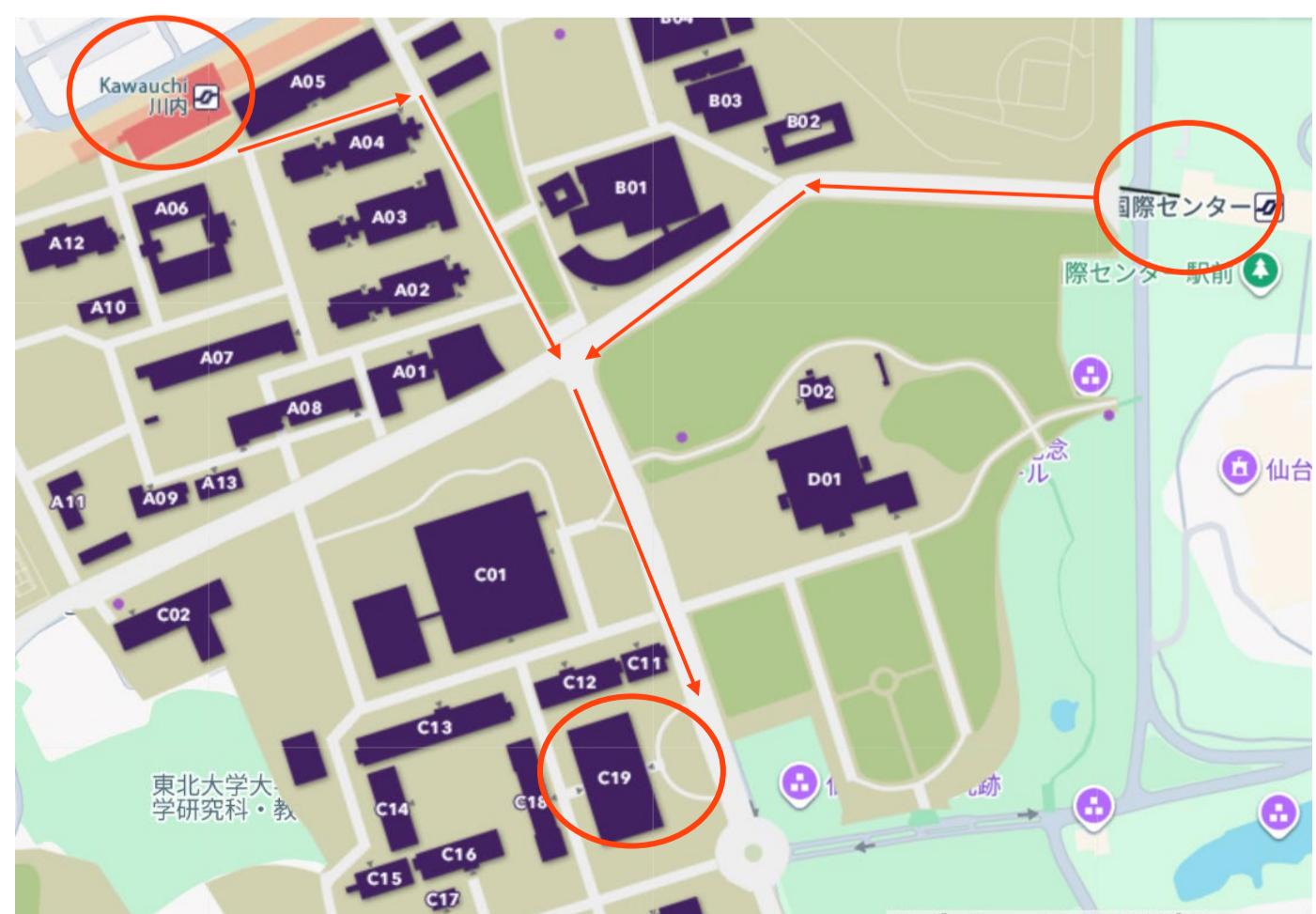
東北大学川内南キャンパス  
文科系総合講義棟(C19)  
経済学部第一講義室



〒980-0862 宮城県仙台市青葉区川内27

アクセス

- 地下鉄東西線「川内駅」より徒歩5分
- 地下鉄東西線「国際センター駅」より徒歩5分



駐車場の提供はございません。公共交通機関をご利用ください。